

町民の方にご紹介!
 いた情報をご紹介!
 あなたはこの情報を
 知っていますか?

新得音頭保存会
 (高橋昭吾会長、会員70人)

《練習日》
 ・町公民館 第2金曜日 13時30分
 ・屈足総合会館 第1水曜日 13時00分
 ※両会場とも11〜4月は練習休み
 【役員には誰でもなれるの?】
 もちろんです。随時会員を募集
 しています。あなたも一緒に踊り
 ましょう!
 ※会員以外の方も、お祭りなど
 で見かけたら、ぜひ一緒に輪に入
 って踊ってください♪

【お問い合わせ】
 新得音頭保存会 事務局長 佐々木健
 (電話 64-4318)



郷土の歴史を
 新得町郷土研究会が
 ご紹介します
 一緒に
 歴史の散歩に
 出掛けましょう

No.39

カムイロキの地名由来

十勝川左岸を南北に走る美蔓
 台地(屈足高台)の27号付近に
 形成されているガンケは、狩勝
 峠からも望めることができる屈
 足地域のシンボリック存在です。
 ここから、約3km上流の十勝
 川左岸にあるのがカムイロキと
 呼ばれる場所です。陸軍の陸地
 測量部が明治29(1896)年
 に作成した『北海道版製五万
 一図 クツタラウシ』に「カム
 イロキ」と記されています。
 この地名はアイヌの人たちが
 名付けたもので、「カムイ・ロク
 イ 神が・座る・所」の意味と
 訳されています。
 最初に文献で紹介したのは幕
 末の探検家の松浦武四郎です。
 松浦は『戊午東西蝦夷山川地理
 取調日誌』に「カムイロキは此
 の川(十勝川)の東岸断崖岬々
 たる壁岩の色灰白色なる大岩の
 半復(中腹)に穴有。是に昔よ



カムイロキの地名由来板

り神靈有るによつて、此処へ行こ
 と敵はざるが故に、此方より木幣
 を奉るによつて号るとかや」と記
 しています。つまり、崖の大岩の
 中腹に穴があって、そこには神靈
 が宿っていて行くことができな
 いので、木幣(イナウ)を奉って
 いるためカムイロキと名付けら
 れたとしています。
 同じ松浦の『十勝日誌』には、「昔
 一人がこの岩壁の上から綱を下
 げ、それを伝つて穴に入ったこと
 があったが、帰つて来なかつた。
 その子も同様に試みたが、その子
 も戻つて来なかつた。それ以来こ
 の洞穴に入ることは禁じられて
 いる」と記されています。
 このカムイロキを望むこと
 ができる湯宿くつたり温泉レイ
 ク・インの駐車場には、平成5
 (1993)年に新得町教育委員
 会と新得町郷土研究会により地
 名由来板が立てられています。

町長室から
 こんにちは

新得町長 浜田正利

皆さんは、新得の子どもたちが
 スポーツで活躍していることを新
 聞や広報などで読んだことがある
 と思います。今回は世界を舞台
 に活躍する3人の大人の方をご紹
 介します。

1人目は、スケート靴をはかず
 プラスチック製のポールを使って
 得点を競う室内ホッケー「フロア
 ホール」の日本代表として世界選
 手権(16カ国参加、12月1〜9日、
 チェコで開催)に出場するスポー
 ツインストラクターの香田優一さ
 んです。

普段はスポーツクラブ「ONE
 ALL SHINTOKU(ワン
 オールシントク)」で子どもたち
 を指導している方です。

2人目は、アイスホッケーの起
 源とされる氷上競技「バンデイ



の7度目の日本代表として世界選
 手権(12カ国参加、1月21日〜25
 日、スウェーデンで開催)に出場
 する大谷賢司さんです。

普段は新得町農業協同組合に勤
 務されている方です。

3人目は、オリンピックのスキ
 ー競技種目でもありますスキーク
 ロスで、ワールドカップ出場権の
 獲得を目指してヨーロッパ杯(12
 月6日から欧州中心に16戦予定)
 に出場する平川紗知さんです。

普段は町内の医療機関で理学療
 法士としてリハビリ等の指導をさ
 れている方です。

3人とも出身こそ新得ではあり
 ませんが、縁あって本町でご活躍
 されている方ですので町民の皆さ
 んの応援をお願いします。

「第7回新得町子ども議会(一
 般質問)」が11月22日に開催され、
 今回は新得小学校6年生39人の議
 員さんから7班に分かれて鋭い質
 問、具体的な提案をいただきました。

提案いただきました事項につい
 ては出来る限り対応していきたい
 と思っています。

本年も町政万般にご協力をいた
 だきましたことに心より感謝申し
 上げますとともに、来る新年が皆
 さんにとって幸多き一年となりま
 すことをお祈り申し上げます。

短歌

新得短歌会

使りきて遠く峠に雪どびし
 寒さきびしも山あざやかに
 小野 恭子

幾鉢も菊多種育て喜びを
 未寿の叔父はみごと咲かせむ
 高橋 幸子

平成六年 わが胃の切除に生れし孫の
 ウエデングドレス見ゆる佳き日ぞ
 小野 洋子

錦秋の空を靉然と雲ち遊けり
 流石お見事生きさま遺す
 小関 白潮

高原の時雨も止みて除幕式
 高久知恵さま在りし日の短歌
 奇藤美代子

守り人檀家の想ひ教え説く
 文学の碑よ語り繋げて
 中井由利子

秋深し三回忌かな七き母の
 あざやかな色紅葉染めゆく
 池田 一步

野球とか何でもできた休み時間
 あの濃密な時は何処に
 岡田御狸裸

朝焼けに静まる街のシルエット
 優しく見守る下弦の月よ
 菊池 水月

雪虫が姿見せず去る秋と
 白くなる峰吹くよ本枯し
 荒木 伸一

俳句

新得俳句同好会

どの樹々も違ふ風来て紅葉散る
 高橋 民女

石楠花の葉下向き揃い冬を待つ
 奇藤 青苔

メロデイに急かせるホーム走りそば
 大崎かずお

雪なくば眠りにつけずパンケ山
 袴田ゆき男

病む夫を見舞う山路や紅葉散る
 八木 育子

わが余生不明のままに霜の月
 月井 愁峰

すいすいとやがて旅立つ鶴凍てる
 渡辺アヤ子

退屈な賽銭箱や神の留守
 中島 土方